平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	自然環境保全センター自然保護公園部
402 ※記入不要		

要望問題

県民との共働による丹沢大山保全・再生のための自然環境情報の提供・収集・共有システムに関する研究開発

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

＜背景＞

丹沢大山保全計画は、県民参加を基本視点の一つに据え、多様な参加と共働による保全対策を推進している。市民による主体的な保全活動をより積極的に促進するためには、自然環境に関する情報共有のためのしくみと基盤整備が不可欠である。

＜内容＞

このため、インターネットＧＩＳをベースとした情報発信の双方向化や情報共有のしくみなど、丹沢大山保全・再生への幅広い県民参加の基盤となる自然環境情報ステーションの構築をめざした研究開発を要望する。

＜対象地域＞

丹沢大山地域

解決希望年限	①１年以内　**②２～３年以内**　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	**①研究所対応**　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） **⑨自然環境保全センター**

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター研究部
部　　署：	森林保全グループ
対応区分	①実施　**②実施中**　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可
試験研究課題名（①、②、④の場合）	丹沢大山総合調査における自然環境情報ステーションの構築（H16-18）

対応の内容等

インターネットＧＩＳをベースとした情報発信の双方向化や情報共有のしくみをもった、丹沢大山保全・再生への幅広い県民参加の基盤となる自然環境情報ステーション（e-Tanzawa）を構築する調査研究を、情報整備チーム（リーダー原慶太郎東京情報大学教授）で実施中である。

H16 年度には、WebGIS を基盤とした情報ステーションの基本設計と併せて、基盤情報整備などが行われており、16 年度末までに、県民向けに自然環境情報を視覚的に示すことをねらいとした「アトラス丹沢第１集」の発刊をめざしている。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	